

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	学校法人福岡学園 福岡看護大学(階数	地上4F
建設地	福岡市早良区田村2丁目	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居地域、第1種住居	平均居住人員	400 人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,336 時間/年
建物用途	学校、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年1月 予定	評価の実施日	2015年12月14日
敷地面積	5,046 m ²	作成者	山中 隆嗣
建築面積	2,320 m ²	確認日	2015年12月16日
延床面積	7,089 m ²	確認者	中川 崇



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>0 46 92 (kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.7</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.1</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.5</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.8</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.6</p>

3 設計上の配慮事項	
<p>総合</p> <p>注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。</p> <p>計画建物を敷地南側へ配置し、周辺建物への日影が極力落ちない配置計画とするとともに、雨水利用、井水利用システムを導入し、省エネルギー化を図る計画としている。</p>	<p>その他</p> <p>注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>各教室環境を向上させるため、空調は個別空調システムとし、室温制御を容易とした。また、十分な開口部を設</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>給排水・衛星設備における信頼性の向上への取り組みとして、節水型器具を採用している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明器具を積極的に採用している。</p> <p>人感センサーや昼光利用を行っている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>内装材にリサイクル材を採用している。</p>
<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>花壇以外に、駐車場に緑化ブロックを採用する等、積極的に敷地の緑地化を図った計画としている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>必要台数以上の、自転車置き場、駐車場を計画している。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される